

事務事業名	特別養護老人ホーム補助金	所属部	健康福祉部	所属課	長寿障がい福祉課
政策名	総合計画体系 (Ⅲ) 地域で支えあうくらしづくり《保健・医療・福祉》	所属G	高齢者福祉	課長名	中島 豊
施策名	(18) 高齢者福祉の充実	担当者名	白築 香	電話番号 (内線)	0854-40-1042 3618
基本事業名	(053) 老人福祉施設等の充実	予算科目	会計 1 1 5 5 3 0 6 7 1 1 5 5 3 0 6 7	中事業	特別養護老人ホーム補助金

1 現状把握の部

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③ 開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)	①平成5年建設の、特別養護老人ホームさくら苑の社会福祉施設整備資金借入金償還元利補給補助金であり、合併前に債務負担行為により確定した補助金である。平成25年度で終了。借入総額224,300,000円 償還総額 303,853,030円 償還年数 20年 雲南市の元利補給補助金元金 85,200,000円 利息 30,218,101円 補助総額 115,418,101円 ②平成17年に建設された、特別養護老人ホーム梅里苑の社会福祉施設整備資金借入金償還元利補給補助金であり、合併前に債務負担行為により確定した補助金である。平成26年度で終了。補助対象金額 966,205千円 補助金交付決定額 300,000千円 単年度30,000千円を10年間で補助する	社会福祉施設整備事業の事前協議に基づいたものであり、社会福祉施設整備事業の事前協議に基づき決定し、合併前に財務負担行為により確定した補助金である。

(2) トータルコスト

		単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	全体計画
① 事業費の内訳(概要)	● 社会福祉施設整備資金借入金償還元利補給補助金 4,790,134円 (交付先:(福)きすき福祉会)	国庫支出金	千円					
	● 社会福祉施設整備補助金 30,000千円 (交付先:(福)有隣会)	県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	35,144	34,966	34,791	34,614	34,438
		事業費計 (A)	千円	35,144	34,966	34,791	34,614	34,438
② 延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	補助金交付事務受付⇒審査⇒補助金交付決定	正規職員従事人数	人	3	1	1		
	概算払請求⇒審査⇒概算払⇒実績報告⇒審査補助金確定通知	延べ業務時間	時間	93	17	16		
		人件費計 (B)	千円	355	66	63	0	0
		トータルコスト(A)+(B)	千円	35,499	35,032	34,854	34,614	34,438

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	指標名	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (目標)	25年度 (目標)	最終 (目標)
				⑤ 活動指標	⑥ 対象指標	⑦ 成果指標	⑧ 上位成果指標		
手段	23年度実績(23年度に行った主な活動)	ア 社会福祉施設整備費補助金	千円	35,144	34,966	34,791	34,614	34,438	
	補助金交付事務受付審査、補助金交付決定、概算払、実績報告、補助金確定								
手段	24年度計画(24年度に計画している主な活動)								
	平成23年度と同じ								

目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (目標)	25年度 (目標)	最終 (目標)
				⑥ 対象指標	⑦ 成果指標	⑧ 上位成果指標			
目的	特別養護老人ホームへの入所対象者	ア 要介護認定者数(要支援を除く)	人	1,963	2,055	2,076	2,120	2,150	
	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	ア 入所人数	人	140	140	140	140	140	
上位目的	④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	ア いきいきと暮らしている高齢者の割合	%	65.1	70.1	67.0	70.0	72	
	生きがいをもっていきいきと暮らす								

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
平成19年度から社会福祉施設整備事業費補助金については国および県とも廃止された。	特になし	現在雲南市内の特別養護老人ホームの待機者数は58名から170名(重複申請)であり増床等により待機者数を減少させることが望まれている。

事務事業名	特別養護老人ホーム補助金	所属部	健康福祉部	所属課	長寿障がい福祉課
-------	--------------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 社会福祉施設整備事業計画に基づいた整備であり、法人の建設負担を軽減しなければ建設が不可であるため。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 特別養護老人ホーム建設・運営を実施することとなったが、建設運営をする団体又は、民間企業もなく行政が建設し、社会福祉法人を設立し運営する事となった。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 法人の健全運営を支援し施設入所者の継続利用を図る。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 国・県と事業計画を協議した時点で国県市町の補助残について資金計画を立てており現時点での償還計画を変更することは困難である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 債務負担行為により確約した補助金であり、事業実施計画時点での社会福祉法人の資金計画(返済額)が困難となる
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 補助金の交付事務には最低限の時間を要している
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 雲南市社会福祉施設整備費補助金交付要綱に基づいて借入金償還元利補給補助をしているが、他の社会福祉法人との整合性を図る上でも見直しが必要である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	裁量の余地のない事業である。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
借入金償還元利補給補助金については、廃止すべきであるが債務負担行為により確約した補助金であり、法人の理解が得られない																							